

年 組 名前：

「<sup>こうしゅう わ し けん さん</sup>甲州和紙」<sup>けん さん</sup>県産ブランドに

<sup>きょうなんちいき せいしぎょうしゅ</sup>峡南地域の製紙業者などで作る「<sup>ふじがわりゅういき</sup>富士川流域クラフトツ

<sup>じつこういんかい</sup>リズム実行委員会」は、<sup>やまなしけんさん</sup>山梨県産の和紙を総称するブランド「<sup>こう</sup>甲

<sup>しゅうわし</sup>州和紙」を立ち上げました。<sup>いちかわわし</sup>市川和紙（<sup>いちかわみさとちょう</sup>市川三郷町）や<sup>にしじまわし</sup>西嶋和紙

（<sup>みのぶちょう</sup>身延町）を



<sup>ちゅうしん けんさん わ</sup>中心に県産和

<sup>し みりよく ひろ</sup>紙の魅力を広

めるのが狙いで

す。10月23、24

の<sup>りょうじつ</sup>両日に<sup>ふじ</sup>富士

<sup>かわちやうない ひら</sup>川町内で開い

た「<sup>こうしゅうわし</sup>甲州和紙

まつり」でお披

<sup>ひ</sup>露目。和紙を身近に感じてもらおうと、<sup>しやしん</sup>写真データを持参すると<sup>けん</sup>和

<sup>し</sup>紙に<sup>しやしん</sup>写真をプリントできるサービスなどを行いました。<sup>じつこういんかい</sup>実行委員

は「『<sup>こうしゅうわし</sup>甲州和紙』を100年続くブランドとするために<sup>いちかわ</sup>市川、<sup>にしじま</sup>西嶋の

<sup>せいしぎょうしゅ ちゅうしん</sup>製紙業者を中心に、<sup>いちがん</sup>一丸となって<sup>みりよく ほんしん</sup>魅力を発信していきたい」と

話しています。

和紙にプリントした写真

(2021年10月28日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 <sup>ふじがわりゅういき</sup>富士川流域クラフトツリズム<sup>じつこういんかい</sup>実行委員会は、どういう人たちでつくっているのですか。

問2 「<sup>こうしゅうわし</sup>甲州和紙」というブランドを立ち上げた目的を書いてください。

問3 <sup>やまなしけんない</sup>山梨県内で和紙作りが特に盛んな<sup>しちやうそん</sup>市町村2つに○を付けてください。

「    」 <sup>こうふし</sup>甲府市           「    」 <sup>みのぶちょう</sup>身延町           「    」 <sup>やまなかこむら</sup>山中湖村

「    」 <sup>いちかわみさとちょう</sup>市川三郷町           「    」 <sup>ほくとし</sup>北杜市           「    」 <sup>ふえふきし</sup>笛吹市